

卒業・卒園 おめでとうございます

3月中旬、町内各小・中学校、幼稚園などで卒業式および卒園式が行われました。小中学校卒業式は、厳粛で規律正しく、素晴らしい卒業式でした。卒業生らは保護者や先生に感謝の気持ちを伝え、思い出が詰まった学び舎に別れを告げました。そして、在校生は、先輩から学んだことをしっかりと受け継いでいくことを誓い、卒業生を温かく送り出しました。

また、幼稚園などの卒園式では、園児たちは、落ち着いたある立派な姿で式を迎えていました。卒園証書を授与されると、保護者のもとへ。「ありがとう」と感謝の言葉とともに証書を手渡していました。



卒園証書を受け取る卒園児



卒業証書を受け取る卒業生



在校生や保護者に歌を披露する卒業生

学校教育向上のため

2月17日(火)、平成26年度学校自己評価報告会(須恵町教育委員会主催)がアザレアホール須恵で行われ、各小中学校の校長や、町議会議員、社会教育団体関係者などが出席しました。これは、子どもたちの教育のために、どのような支援を行うことができるかを、各関係機関の人たちと一緒に考える場として設けられました。

報告会では、各学校の校長が「心の教育」と「学力向上」の両面から自校の平成26年度の取り組みを説明し、その成果と課題を発表しました。

その後の全体協議会では質問や意見が出され、活発な意見交換の場となりました。



報告会の様子

消防団による模擬火災訓練

3月1日(日)、須恵町消防団(山口明光団長)による模擬火災訓練が行われました。この訓練は、全国火災予防運動の期間中に、火災発生時の迅速で確実な行動、各分団間の連携強化などを目的に行うものです。この日の訓練は、旅石区の2か所で建物火災が発生した想定で行われました。火災の発生を知らせるサイレンを合図に、消防車両10台と約150人の団員が出動しました。

現場に到着した団員は、悪天候の中にもかかわらず機敏な行動で水の中継し、火災が発生した想定地点に向け、放水しました。



旅石区内での模擬火災訓練の様子

原子力防災訓練

1月24日(土)、福岡県原子力防災訓練(福岡県および糸島市主催)が、介護老人保健施設若杉の里(上須恵112の79)で行われました。これは、原子力災害時の広域避難を迅速かつ円滑に行うため、原子力発電所から30キロメートル圏内の住民を対象とした訓練です。

糸島市の介護老人保健施設ふるりの入所者が、若杉の里へ避難する想定。救護所を設置し、ふるりの入所者および職員のスクリーニングや除染などが行われました。



訓練の様子

2分団の小型動力ポンプ積載車を更新

須恵町消防団 新生分団と新原分団の小型動力ポンプ積載車が更新時期を迎えたため、新たに配備され、その配属式が3月4日(水)、須恵町役場で行われました。

消防自動車は、火災その他災害に際してその鎮圧や防御を行なう際に、使用される特殊な装備を持つ自動車です。

これで、須恵町消防団の消防自動車の更新が完了し、多様化している災害や消防・防災活動などに効果的な活動をしていきます。



配属式の様子



新生分団の小型動力ポンプ積載車



新原分団の小型動力ポンプ積載車